

家畜衛生だより

「家畜排せつ物法」の管理基準について

家畜排せつ物の処理等については、「家畜排せつ物の適正化及び利用の促進に関する法律(家畜排せつ物法)」に基づき、遵守すべき基準(管理基準)が定められています。

管理基準の概要

1 管理施設に関する基準

- ・ふんなど、固形状の家畜排せつ物を管理する施設は、
 - ① 床をコンクリートなどの不浸透性材料で築造すること。
 - ② 適当な覆い及び側壁を設けること。
- ・液状の家畜排せつ物の管理施設は、不浸透性材料で築造した貯留槽とすること。

2 管理方法に関する基準

- ① 家畜排せつ物は管理施設で管理する。
- ② 管理施設の定期的な点検を行う。
- ③ 管理施設の床、側壁等に破損があるときは、すぐに修繕する。
- ④ 家畜排せつ物の年間発生量、処理方法等について記録する。

管理基準の対象飼養規模

牛・馬	10頭以上
豚	100頭以上
鶏	2,000羽以上

★家畜排せつ物の記録は、参考様式がありますので、御活用ください。

★記録は、次回まで保存していただくようお願いします。



(乳用牛)

令和 年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日 令和 年 月 日)

1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種 類	平均的な 飼養頭数 (頭) ①	1 頭当たり排せつ物量		1 年当たり排せつ物量		
		ふ ん ②	尿 ③	ふ ん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合 計 ⑥ (④+⑤)
搾 乳 牛		1 6 . 6	4 . 9			
乾 乳 牛		1 0 . 8	2 . 2			
未 経 産 牛		1 0 . 8	2 . 2			
育 成 牛		6 . 5	2 . 4			
合 計		—	—			

注 1) 平均的な飼養頭数は、2月1日現在の頭数又は当該年と前年の2月1日現在の平均頭数等を用いる。

2 処理の方法及び処理の方法別の数量

処 理 方 法	割 合	
	ふ ん	尿
①自家処理し、自己の経営内で利用	割	割
②自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割	割
③浄化処理施設で処理	割	割
④焼却施設で処理	割	割
⑤その他 ()	割	割
()	割	割
合 計	1 0 割	1 0 割

注 1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注 2) ふん尿混合で処理を行っている場合は、固形物として処理している場合はふん、液状物として処理している場合は尿に記入する。

注 3) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

(肉用牛)

令和 年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日 令和 年 月 日)

1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種 類	平均的な飼養頭数 (頭) ①	1 頭当たり排せつ物量		1 年当たり排せつ物量		
		ふ ん ②	尿 ③	ふ ん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合 計 ⑥ (④+⑤)
肉用種 2 歳未満		6. 5	2. 4			
肉用種 2 歳以上		7. 3	2. 4			
乳 用 種		6. 6	2. 6			
合 計		—	—			

注 1) 平均的な飼養頭数は、2 月 1 日現在の頭数又は当該年と前年の 2 月 1 日現在の平均頭数等を用いる。

2 処理の方法及び処理の方法別の数量

処 理 方 法	割 合	
	ふ ん	尿
①自家処理し、自己の経営内で利用	割	割
②自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割	割
③浄化処理施設で処理	割	割
④焼却施設で処理	割	割
⑤その他 ()	割	割
()	割	割
合 計	1 0 割	1 0 割

注 1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注 2) ふん尿混合で処理を行っている場合は、固形物として処理している場合はふん、液状物として処理している場合は尿に記入する。

注 3) 割合は、過去 1 年間の処理方法に基づいて記入する。

(養 豚)

令和 年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種 類	平均的な 飼養頭数 (頭) ①	1 頭当たり排せつ物量		1 年当たり排せつ物量		
		ふ ん ②	尿 ③	ふ ん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合 計 ⑥ (④+⑤)
肥育豚		0. 7 7	1. 3 9			
繁殖豚		1. 2 0	2. 5 6			
合 計		—	—			

注 1) 平均的な飼養頭数は、2月1日現在の頭数又は当該年と前年の2月1日現在の平均頭数等を用いる。

2 処理の方法及び処理の方法別の数量

処 理 方 法	割 合	
	ふ ん	尿
①自家処理し、自己の経営内で利用	割	割
②自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割	割
③浄化処理施設で処理	割	割
④焼却施設で処理	割	割
⑤その他 ()	割	割
()	割	割
合 計	1 0 割	1 0 割

注 1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注 2) ふん尿混合で処理を行っている場合は、固形物として処理している場合はふん、液状物として処理している場合は尿に記入する。

注 3) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

(採卵鶏)

令和 年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種 類	平均的な飼養羽数 (千羽) ①	千羽当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふ ん ②	尿 ③	ふ ん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合 計 ⑥ (④+⑤)
雛		21.5	—		—	
成 鶏		49.6	—		—	
合 計		—	—		—	

注1) 平均的な飼養羽数は、2月1日現在の羽数又は当該年と前年の2月1日現在の平均羽数等を用いる。

2 処理の方法及び処理の方法別の数量

処 理 方 法	割 合
	ふ ん
①自家処理し、自己の経営内で利用	割
②自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割
③浄化処理施設で処理	割
④焼却施設で処理	割
⑤その他 ()	割
()	割
合 計	10 割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注2) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

(ブロイラー)

令和 年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な飼養羽数 (千羽) ①	千羽当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ②	尿 ③	ふん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合計 ⑥ (④+⑤)
ブロイラー		47.5	—		—	

注1) 平均的な飼養羽数は、2月1日現在の頭数又は当該年と前年の2月1日現在の平均羽数等を用いる。

2 処理の方法及び処理の方法別の数量

処 理 方 法	割 合
	ふん
①自家処理し、自己の経営内で利用	割
②自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割
③浄化処理施設で処理	割
④焼却施設で処理	割
⑤その他 ()	割
()	割
合 計	10 割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注2) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

(馬)

令和 年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な飼養頭数 (頭) ①	1頭当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ②	尿 ③	ふん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合計 ⑥ (④+⑤)
馬		8.4	1.8			

注1) 平均的な飼養羽数は、2月1日現在の頭数又は当該年と前年の2月1日現在の平均頭数等を用いる。

2 処理の方法及び処理の方法別の数量

処 理 方 法	割 合	
	ふん	尿
①自家処理し、自己の経営内で利用	割	割
②自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割	割
③浄化処理施設で処理	割	割
④焼却施設で処理	割	割
⑤その他 ()	割	割
()	割	割
合 計	10割	10割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注2) ふん尿混合で処理を行っている場合は、固形物として処理している場合はふん、液状物として処理している場合は尿に記入する。

注3) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。